

2010年6月期 決算説明会資料

ウェルネット株式会社
(JASDAQ 2428)

代表取締役社長 宮澤 一洋

2010年8月24日

2010年6月期決算の概要（連結）



単位：百万円

	2010年6月期				
	上期実績	下期実績	通期計画	通期実績	計画比(%)
売上高	18,894	21,025	37,700	39,919	105%
売上総利益	2,291	2,646	4,950	4,937	99%
販売費及び 一般管理費	1,852	1,931	3,850	3,783	98%
営業利益	438	715	1,100	1,153	104%
経常利益	592	744	1,370	1,337	97%
当期純利益	421	2,170	825	2,591	314%

※通期計画は平成22年2月10日の決算説明会にて発表の業績予想値です。

既存事業の売上増

マルチペイメントサービス及びオンラインビジネスサービスが好調に推移。
特にEC事業者向けの取扱高が予想を上回った。

エネルギー事業においてLPガス・灯油の売上高が増加したことから、売上総利益が当初予想を上回り、加えてコストも低減できた。

関係会社株式売却益の計上

平成22年6月30日をもって子会社である株式会社一高たかはしの全株式を株式会社サイサンに譲渡。関係会社株式売却益を特別利益に計上。

増加費用の内容

市場環境変化の影響により複合金融商品評価損を計上。
退任予定の取締役に対する役員退職慰労金を特別損失に計上。

2010年6月期決算の概要（IT事業）



単位:百万円

	09/6期 実績	10/6期					
		上期実績	下期実績	通期計画	通期実績	計画比(%)	前期比(%)
売上高	26,244	14,765	15,532	28,500	30,297	106%	115%
売上総利益	1,345	700	754	1,482	1,454	98%	108%
販売費及び 一般管理費	751	437	419	872	856	98%	113%
営業利益	593	262	335	610	597	97%	100%
経常利益	629	285	260	650	546	84%	86%
当期純利益	308	158	2,433	313	2,591	827%	841%

※通期計画は平成22年2月10日の決算説明会にて発表の業績予想値です。

【参考】

	09/6期	10/6期	前期比(%)
設備投資額	620	272	44%
減価償却費	172	244	141%
研究開発費	49	6	12%

2010年6月期 サービス別売上高・売上総利益(IT事業)



単位:百万円

		09/6期 実績	10/6期						
			上期実績	下期実績	通期計画	通期実績	前期比	計画比	
マルチペイメント サービス	売上高	3,431	1,882	2,080	3,722	3,962	115%	106%	
	売上総利益	1,144	583	635	1,148	1,218	106%	106%	
オンライン ビジネス	売上高	22,633	12,766	13,363	24,515	26,129	115%	106%	
	売上総利益	239	135	144	325	279	116%	85%	
電子認証 サービス	売上高	178	117	89	263	206	115%	78%	
	売上総利益	▲38	▲17	▲27	10	▲44	-	-	

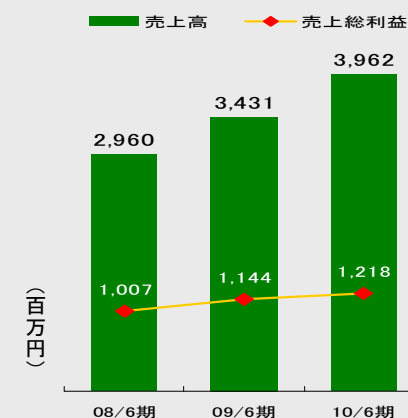
※通期計画は平成22年2月10日の決算説明会にて発表の業績予想値です。

サービス別 売上高・売上総利益の概要



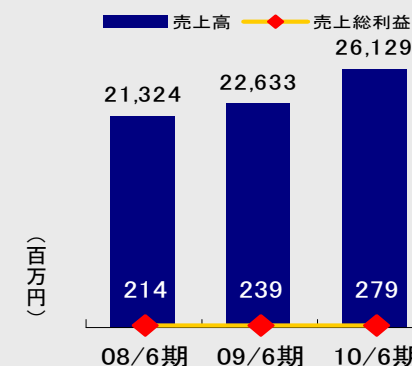
マルチペイメントサービス

- 既存契約事業者向けの取扱高及び売上高が順調に増加。特に大手EC事業者が順調。
- ガス、電気など公共料金分野への採用拡大



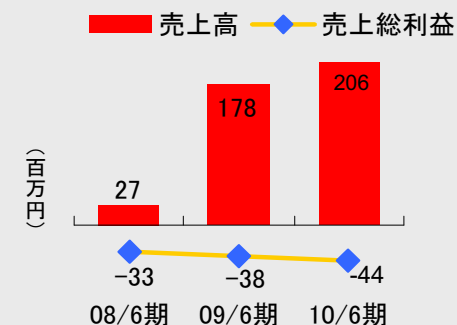
オンラインビジネスサービス

- オンラインゲーム・SNSなどで利用するPIN販売 堅調に推移
- 各種申込サービスが稼働



電子認証サービス

- Jリーグ全試合観戦記録システム採用が25チームに拡大
※システム改修完了、安定稼働開始
- 個別チケット販売のリリースずれ込みが収益に影響
- 運用コスト低減に注力



財務情報（貸借対照表の2期比較）



◆2010年6月期は連結貸借対照表を作成していないため、個別貸借対照表の比較を記載しております。

（単位：百万円）

個別貸借対照表	09/6期	10/6期
流動資産	7,912	12,511
現金及び預金	6,179	10,741
売掛金	1,407	1,615
その他流動資産	326	154
固定資産	5,079	2,359
有形固定資産	881	725
無形固定資産	256	394
投資その他の資産	3,941	1,240
資産合計	12,992	14,871
流動負債	7,402	7,999
買掛金	2,219	2,564
収納代行預り金	4,754	4,797
その他流動負債	429	638
固定負債	8	78
負債の部合計	7,411	8,077
資本金	667	667
資本剰余金	3,509	3,509
利益剰余金	1,425	3,880
自己株式	▲21	▲1,263
純資産の部合計	5,580	6,793
負債及び純資産の部合計	12,992	14,871

現金及び預金

主に子会社であった一高たかはしの全株式を売却したことによる増加

投資その他の資産

主に子会社であった一高たかはしの全株式を売却したことによる減少

その他流動負債

主に未払法人税等の増加及び、役員退職慰労金による増加

利益剰余金

当期純利益の増加

自己株式

一高たかはしからの自己株式取得による減少

2010年6月期決算の概要（エネルギー）



単位：百万円

	09/6期 実績	10/6期					
		上期実績	下期実績	通期計画	通期実績	計画比(%)	前期比(%)
売上高	8,998	4,157	5,550	9,250	9,707	104%	107%
売上総利益	3,504	1,618	1,943	3,530	3,561	100%	101%
販売費及び 一般管理費	2,966	1,439	1,536	3,030	2,975	98%	100%
営業利益	537	179	406	500	586	117%	109%

※09/6期実績は、のれん償却費を除外し調整しております。 ※通期計画は平成22年2月10日の決算説明会にて発表の業績予想値です。

全般

- ・ LPガス・灯油ともに販売数量が堅調に推移した結果、売上・売上総利益は計画を上回りました。
- ・ コストの削減・抑制へ注力した結果、販売費及び一般管理費は計画を下回りました。
- ・ その結果、営業利益は、計画値を上回りました。

LPガス

販売数量が順調に推移し、売上高・売上総利益ともに計画を達成しました。

灯油

主に1～3月の気候要因で販売数量が計画を上回り、売上高・売上総利益ともに計画を達成しました。

2010年6月期増配

子会社株式譲渡などに伴い、当期純利益が大幅に増加することから、普通配当1,500円に加えて、特別配当700円を実施予定。

	期末	年間
2010年6月期予定	2,200円 (普通配当1,500円) (特別配当 700円)	2,200円 (普通配当1,500円) (特別配当 700円)
2009年6月期実績	1,200円	1,200円
2008年6月期実績	800円	800円

2011年6月期業績見通し



2011年6月期から売上高を総額表示から純額表示に変更します。

※2010年6月期の売上高も純額表示の場合の数値を記載しております。

単位：百万円

	10/6期 実績	11/6期			
		上期計画	下期計画	通期計画	前期比(%)
売上高	4,959	2,692	2,808	5,500	110%
売上総利益	1,454	773	829	1,602	110%
販売費及び 一般管理費	856	449	433	882	103%
営業利益	597	324	396	720	120%
経常利益	546	320	380	700	128%
当期純利益	2,591	136	174	310	11%

**2011年6月期で
慰労金引当予定**

【参考】

	10/6期	11/6期	前期比(%)
設備投資額	272	173	64%
減価償却費	244	230	94%
研究開発費	6	0	0%

■ 過去3年間の売上高、売上原価を純額表示した場合の数値及び次期見通し （単位：百万円）

	平成20年6月期	平成21年6月期	平成22年6月期	平成23年6月期
売上高	3,237	3,951	4,959	5,500
売上原価	2,047	2,606	3,505	3,898
売上総利益	1,189	1,345	1,454	1,602
(PINオンライン販売サービス相殺分)	(21,058)	(22,277)	(25,325)	(-)
(95bus.comサービス相殺分)	(16)	(14)	(13)	(-)

■ 特殊要因※を除いた場合の利益見通し比較 （単位：百万円）

	平成22年6月期実績	平成23年6月期見通し
営業利益	597	720
経常利益	546	700
税引前当期純利益	530	700

※特殊要因として以下の事項を除いております。

平成22年6月期実績

- ・ 子会社株式売却益2,864百万円
- ・ 役員退職慰労引当金繰入額94百万円

平成23年6月期見通し：

- ・ 役員退職慰労引当金繰入額200百万円

2011年6月期 サービス別売上高・売上総利益見通し（純額）



単位：百万円

		10/6期 実績	11/6期			
			上期計画	下期計画	通期計画	前期比
マルチペイメント サービス	売上高	3,962	2,151	2,181	4,332	109%
	売上総利益	1,218	639	630	1,269	104%
オンライン ビジネス	売上高	804	443	487	930	115%
	売上総利益	279	149	180	329	118%
電子認証 サービス	売上高	193	97	140	237	122%
	売上総利益	▲44	▲15	19	4	—

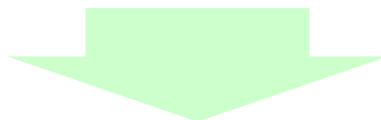
中期5ヵ年経営計画

● 2015年6月期までの中期経営計画を策定

I 存在意義（経営コンセプト）

「新規スキーム開発による社会貢献」

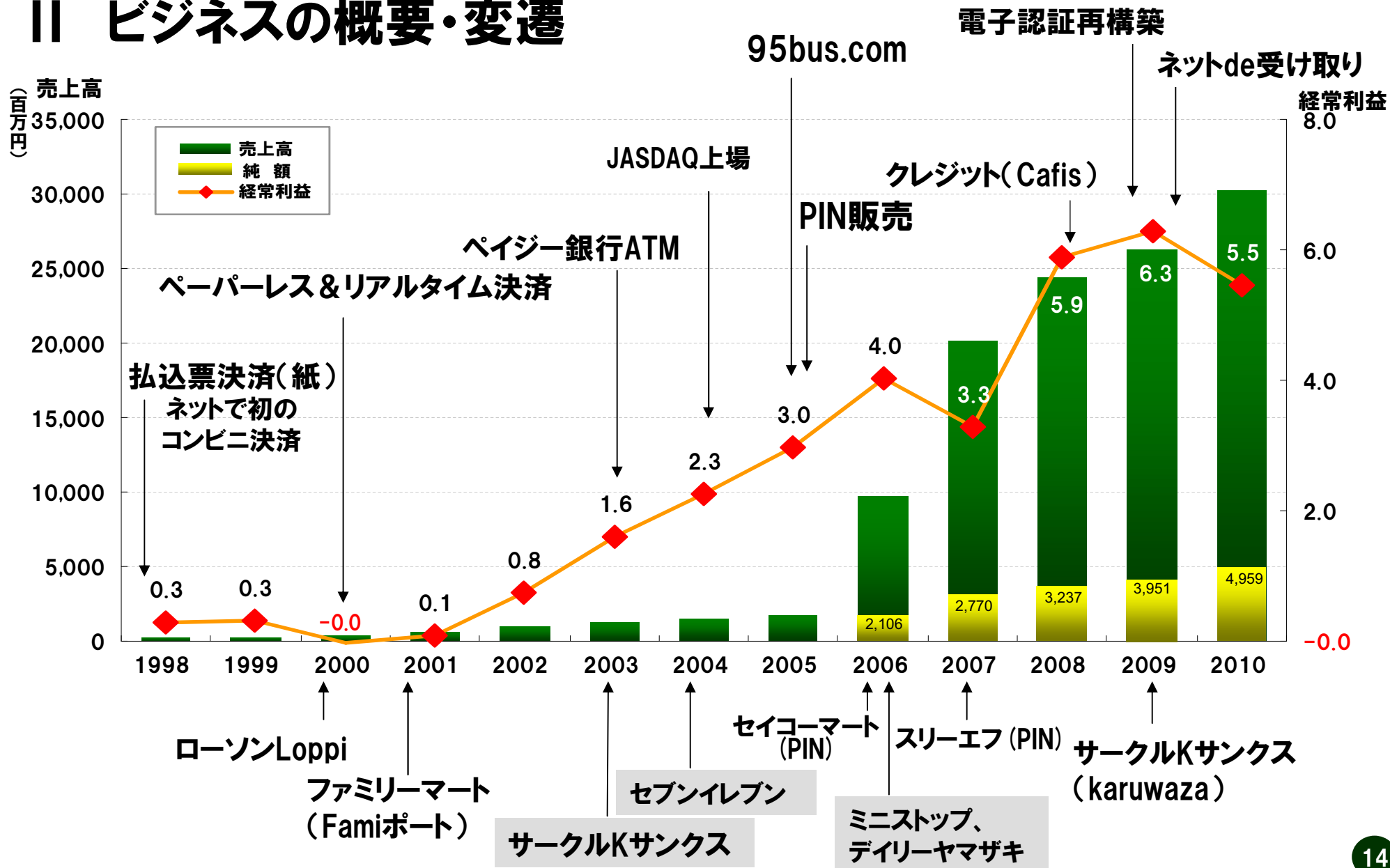
「自身の可能性を試すフィールドを社員に提供する」



会社の基本方針“ウェルネットアレーター”を決定

- “あったら便利なくみ”を作り続けることで社会に貢献します
- その「しくみ」を広く世の中に提案・普及させます
- そこから得た「収益」を社員・株主・次への投資として配分します

II ビジネスの概要・変遷



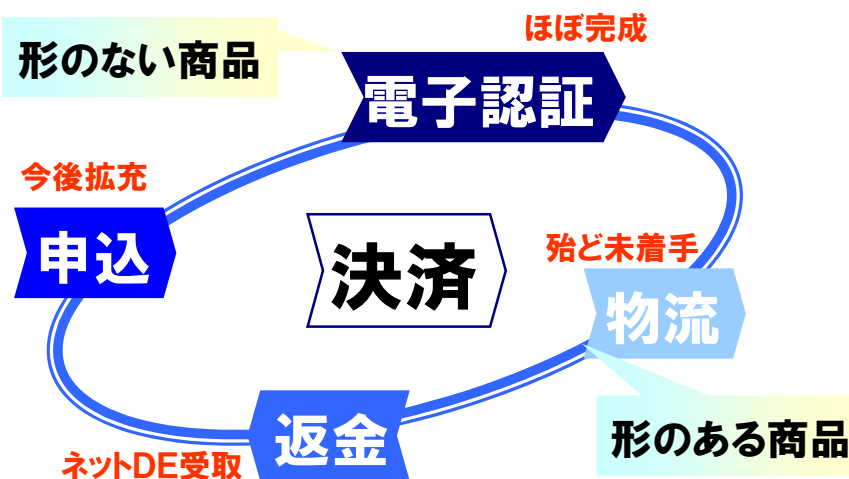
①バリュートランスファープラットホーム
拡充

②データセンター再構築

③新規事業

④グローバル化

⑤シナジー効果の高い提携・M&A



- EC決済増加
- 電子認証ブレイク
- 申込への拡充(Kiosk端末利用各種検定・Jリーグ)

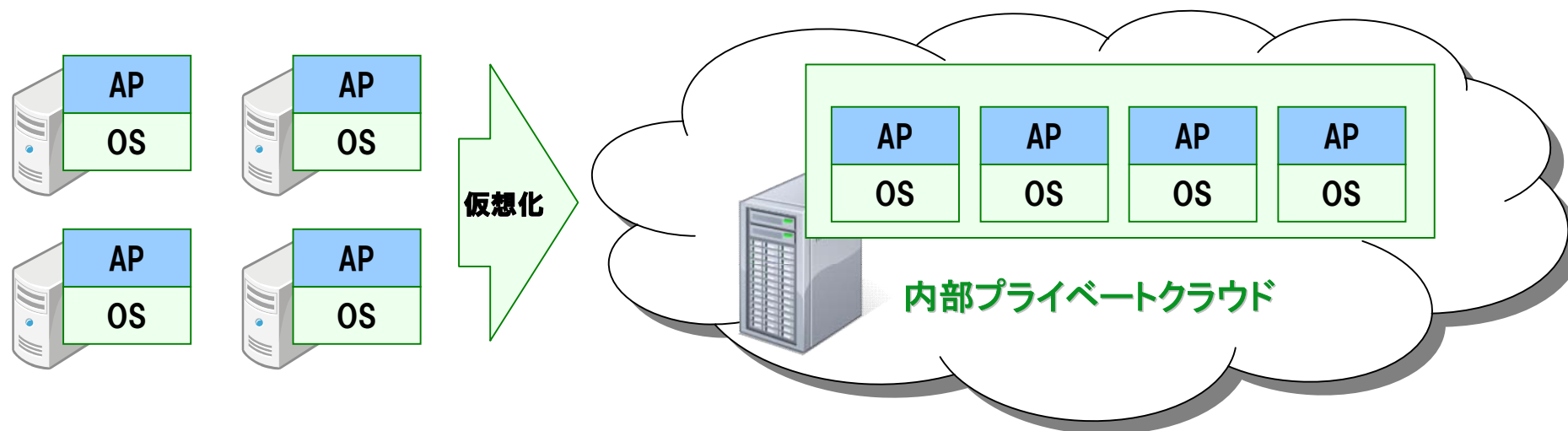


(参考) 仮想化技術の導入によるデータセンタ再構築



仮想化はソフトウェア的にサーバを立ち上げて運用する技術であり、1台の物理サーバ上に複数のサーバをヴァーチャル(仮想的)に構築できます。

この結果、従来はプラットフォームやシステムごとに設置していた物理サーバを少ない台数にまとめて、運用管理の負荷軽減や人員配置の効率化、設置スペースの節約などさまざまな面でのコスト抑制が実現します。



- ・ハードウェア性能を有効活用
- ・耐障害可用性
- ・柔軟なシステム構成

当社の強み＝自社開発＆直接接続によるアプリケーション拡充



ローソン／ファミリーマート
サークルK／サンクス

サークルK／サンクス
ミニストップ／デイリーヤマザキ
スリーエフ / セイコーマート

ゆうちょ／三井住友
／みずほ／りそな・
埼玉りそな／千葉

都銀／地銀／ゆうちょ銀／ネット専
業銀／信金／信組／労金／農協・
漁協など約1,300機関と接続



キオスク端末

POS

銀行ATM

ネットバンク

クレジット

電子マネー



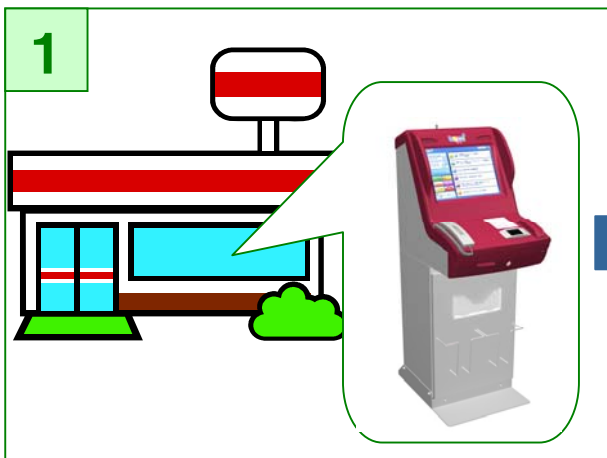
店舗端末と**直接接続**



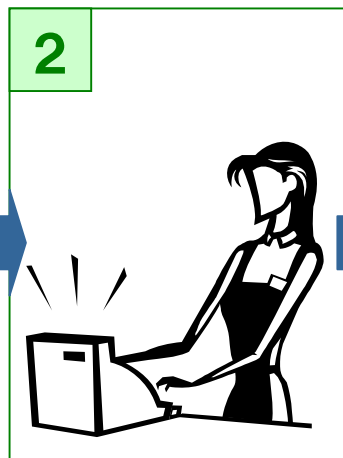
コンビニエンスストアとの協業で様々な新サービスを提供

決済 ⇒ 高速バスチケット発券 ⇒ PIN販売 ⇒ 申込 ⇒ 荷物受取
⇒ . . .

各種申込 コンビニKiosk利用新サービス（2009年7月～）



1
ローソンまたはサークルKサンクスの端末で、「各種申し込み」→「学び・教育」→「予備校」→「各種検定」→希望検定や申込サービス選択



2
レジにてお支払いで受付完了



3
バウチャー(チケット)をお渡する。これが受験票に

利用できるコンビニ

LAWSON

CircleK Sunkus



対象サービス

漢字検定・英検・数検

模擬試験...

更に拡大努力

従来の検定料支払いよりも
優れている点

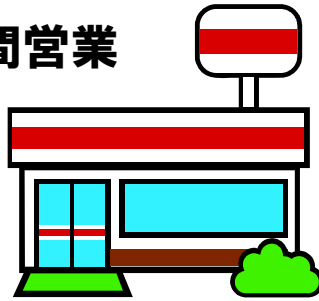
最寄のコンビニで
24時間手続き可能

流通のIT化による制約の打破



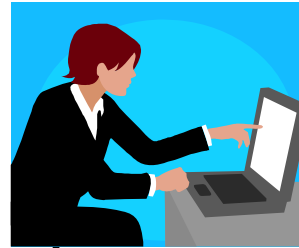
なし
時間の制約
あり

24時間営業



コンビニエンスストア

パソコン



携帯電話

いつでも
どこでも

プレイガイド／旅行代理店

現金 ↔ 紙チケット



窓口販売

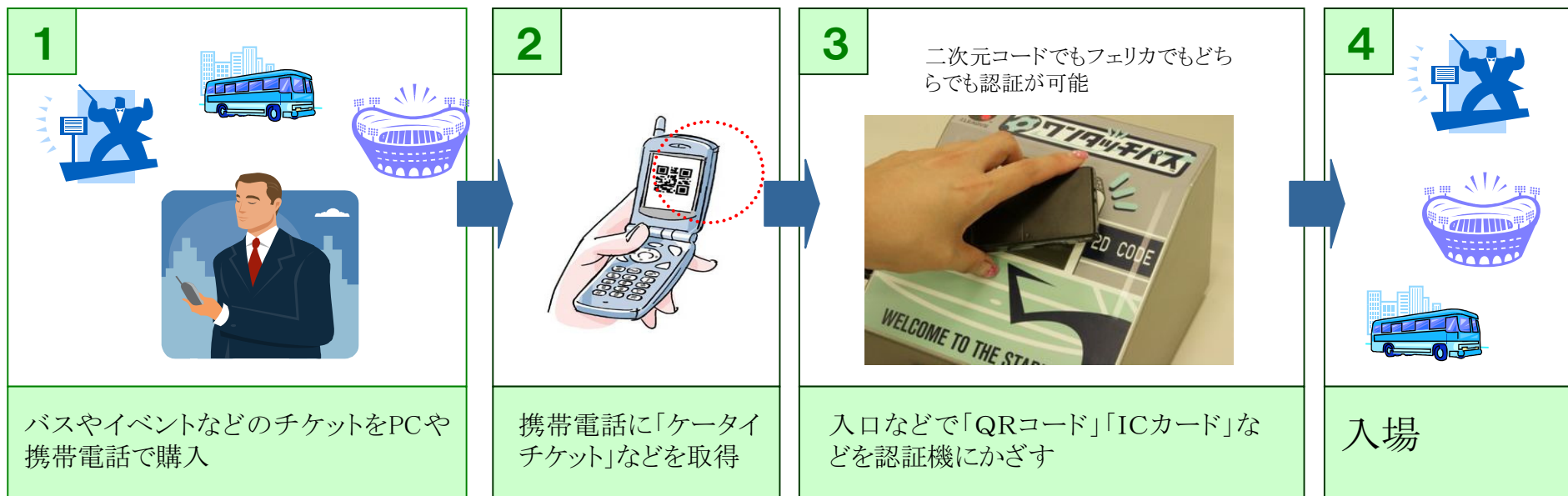
電話注文(受け手必要)



通信販売

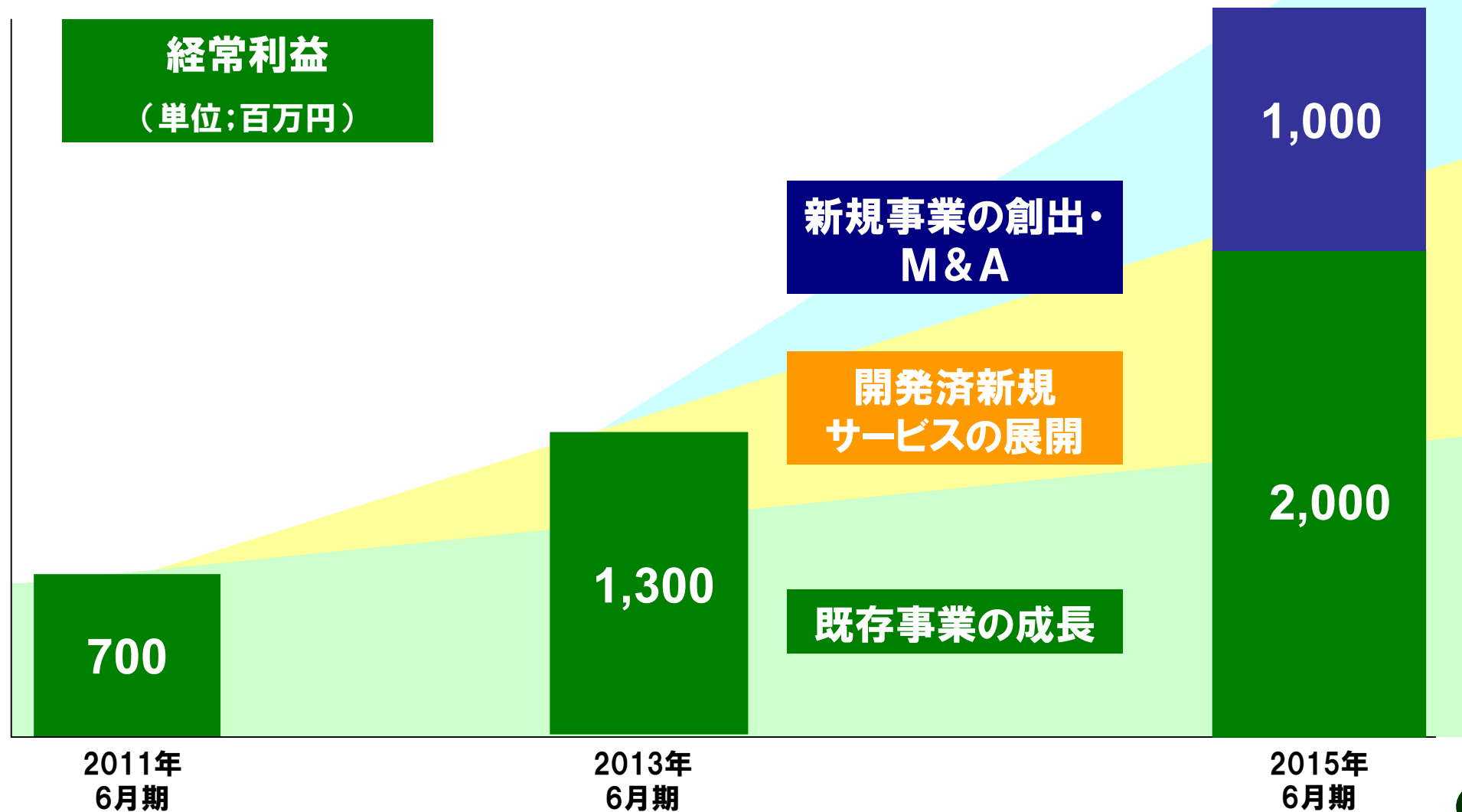
あり 場所の制約 なし

いつも持ち歩いている携帯電話から、“いつでも・どこでも”チケットを購入することができ、携帯電話がチケットの代わりとなるサービスです。



- 当日ギリギリまで販売可能（優れた即時性）
- 直売化（コストダウン）
- 電子化（後処理効率化）

業績目標：2015年6月期に経常利益30億円を目指します



配当性向

配当性向33.3%

- 個人株主増加に向けたIR活動の実施

設備投資

設備投資 2015年までの5ヵ年累計 1,800百万円 + α

目標に向けての取り組み

透明化・可視化によるコーポレートガバナンス実効性向上

- リソース投入プロセスの透明化・社員教育
- 投入済みリソースの収益状況数値化⇒“カイゼン”へ
- 人材有効活用・能力開発



ご清聴ありがとうございました。

ウェルネット株式会社（ジャスダック 2428）

担当 管理部 IR担当

住所 〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目1-7NBF日比谷ビル26階

TEL 03-3580-0199 FAX 03-3580-0168

URL <http://www.well-net.jp>

Mail ir@well-net.jp

この資料に掲載されております当社の計画及び業績の見通し、戦略等は発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。あくまでも、将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。